

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2014年度達成度評価表 分野:社会貢献

		評価	理由
中期計画	1 地域連携ネットワークの確立と強化		
実行計画	(1)「社会との連携・協力に関する方針」を策定する。	C	各学部・部署個々でアクション起こすのもよいが、社会連携グループ・広報グループを中心に社会貢献を行う方が広報できる利点もある。
	(2) 地域と本学の安全を保持するために地域との連絡協議を活発化する。	B	実行計画を実現させるため、地域の安全連絡調整会の設置については、類似会議があるため、ニーズに対応できる体制づくりへと路線変更することと完了した。防災力ならびに危機管理能力の向上を図るという2施策はスケジュール通り進捗している。
	(3) 産学官連携、大学間連携、高大連携など、さまざまな連携事業を発展・拡大させる。	B	社会連携グループを中心にさまざまな取り組みをしており、評価できる。今後も各部署と連携を図りながら、継続した取り組みに期待する。
	(4) 地域住民の参加による大学と地域の交流の充実を図る。	B	学部・ゼミのみでなく、課外活動団体を地域イベントに参加させることにより、人材育成につながるのではないかと。またジュニアクラブについては、入会者が単年度で終わらないよう地域のニーズを集め続けることを期待する。
	(5) 地域の教育機関等への支援体制を確立する。	B	確実に実施できており評価できるが、全学的な協力が望まれる。
	(6) 大学施設の地域開放を進める。	B	施設の貸出しはこれまでの実績どおりの実施であり、さらなる地域開放が望まれる。
中期計画	2 教育研究成果の社会への還元		
実行計画	(1) 社会が求める生涯学習のあり方について検討する。	B	2014年度までの活動は順調であるが、将来、活動内容が大きくなるにつれて、人的、施設的、経済的な手当てが必要である。
	(2) 土曜公開講座・グリーンフェスティバルのあり方について検討する。	B	広報活動により新規の来場者の獲得を目指している点は評価できる。
	(3) 学術講演会等の充実を図る。	C	卒業生を講師とした学術講演会を開催できるよう、社会連携グループと広報グループで連携をとる必要がある。
	(4) 神戸学院ブランド商品・食品の開発、販売について検討する。	B	継続的な取り組みにより、ブランド食品・商品の開発・販売を実現することを期待する。
中期計画	3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実		
実行計画	(1) ボランティア活動参加者の増加策を強化する。	C	活動の分野により、成果の差に違いはあるが、学生がボランティア活動に貢献していることは評価できる。また、日々の業務とのバランスを考慮し、優先順位の高いもののみを残し発展的に他の分野に取り組むことを期待する。
	(2) ボランティア活動への支援策を強化する。	B	学部移転に伴い2015年度への体制を整えることができ、2014年度も継続的に取り組みを実施しており評価できる。

評価 S: 目標よりはるかに上回る、A: 目標をやや上回る、B: おおむね目標どおり、C: 目標をやや下回る、D: 目標をかなり下回る